20210820　　猪高の森自然観察会　2021 年 8 月報告書

猪高の森自然観察だより　8 月号

開催日時：2021年 8 月 20 日（金）　11：00～12：20　天候：雨のち晴夕方再び雨
参加人数・構成：　自然観察グループ 6 名
コース：森の集会所　→　塚ノ杁池畔　→　シダレザクラの里　→　こもれび池　→
　　シダレザクラの里　→　森の集会所

８月１１日から梅雨末期のような気圧配置が１０日間も続き、太陽がほとんど顔を出さず、
大雨や洪水の警報や注意報が連日のように出る日々でした。
８月の観察会はお休みですが、自然観察だよりは続きます。

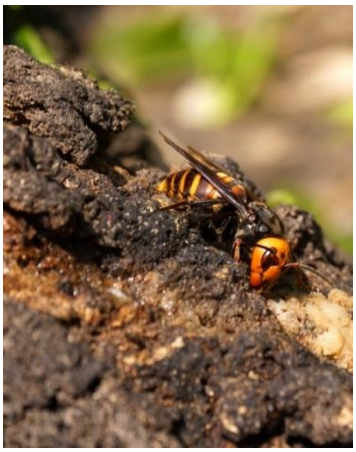
【　雨上がりの猪高の森　８月　】

こんな観察日でした

朝は晴れていたのに、森の集会所に到着したときは本降りの雨。
これでは、さすがに観察は無理、と、森の集会所を借りて、水質検査の練習をしていました。
と、そのうちに雨も上がり、出発しようということになりました。
時間は短かったけれど、雨が上がってすぐに森に入るのは初めてです。
画像は他の日の見られた 8 月のものもあります。

集会所の広場を出発してすぐに・・

樹液に集まる虫たちが早速に活動しています。
チョウのサトキマダラヒカゲとスズメバチの仲間たちが来ていました。刺激しないようにそっと通ります。



左がおそらくコガタスズメバチ、中がオオスズメバチです。巣作りのための材料集めのようで、幹をかじっている様子が見られます。右はサトキマダラヒカゲ。

カブトムシのお宿でビックリ！

冬に子供たちと落ち葉を詰め込んで作る「カブトムシのお宿」。

なんと、カブトムシが出て来ています。時期としては少し遅め。雨が上がるのを待っていたのでしょうか？それも全てオス！帰り道でも覗いてみると、別の個体もいましたので、全部で 5 匹は少なくともいたようです。

今まさに出てこようとしていたカブトムシもいました。

イセノナミマイマイ（左）とナミコギセル（中、右）も雨上がりに登場！陸生の巻き貝の仲間は普段は隠れています。

巻き貝の仲間のカタツムリやキセルガイも見られました。ただ、この連中は、雨上がりの半日経った頃に同じ場所で探しても、見つかりませんでした。ほんのひと時の出来事だったようです。貴重な体験が出来ました。

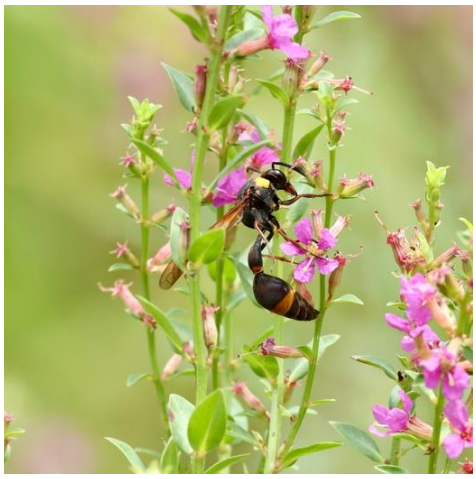
塚ノ杁池の花は･･･

残念ながら、塚ノ杁池は外来種での花盛りです。かつて生育していた在来種が見られず、困った状況が続き、トンボなどの種類も少なくなりました。

園芸種のスイレン（左）とオオバナイトタヌキモ（右）どちらも外来種です。
在来種を駆逐して増えています。

シダレザクラの里では

ミソハギが綺麗に咲いていました。ハチの仲間が活動しています。雨が止んでいる間は忙しそうです。足元でマムシを発見！道をはずれず注意しながら歩けば大丈夫です。



左はミソハギとタイワンタケクマバチ（外来種）、中はミソハギとスズバチ、右は銭型模様の斑紋がある典型的なマムシです。保護色になっていますので少しわかりにくいですね。

こもれび池は･･

ギンヤンマの産卵をみることが出来ました。カワセミも美しい姿を現してくれました。この池もミシシッピーアカミミガメやアメリカザリガニ、ウシガエルなど外来種が多い池です。

ギンヤンマの産卵。ギンヤンマは時速70㌔で飛ぶ捕まえにくいトンボです。

カワセミ。宝石と呼ばれる美しい鳥。こもれび池でよく見られます。

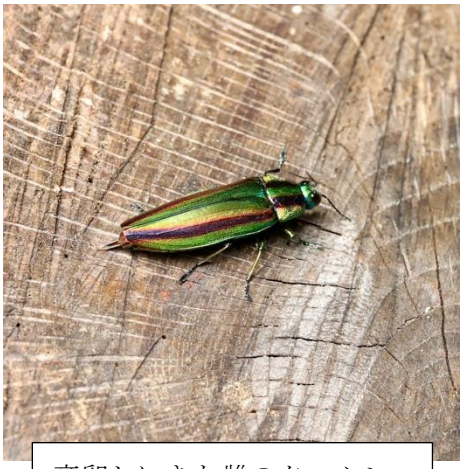
雨がつづくときはこんな楽しみ方も出来ます

雨が続くと生えてくるのは何でしょう？キノコです。猪高の森で見られたキノコたちのプロフィールをご覧ください。細かい種類はわかりませんが、思わず笑っちゃうのもあります。

８月の他の日にこんな嬉しい出会いがありました

下旬の２２日、溜池講座が行われた日、水質検査をしながら、溜池巡りをしていた時のことです。

切られた木に集まる沢山のタマムシ



産卵しにきた雌のタマムシ

こんなに多くのタマムシをいっぺんに見るのは初めてでした。

トピックス―派手なガ！？地味なチョウ！？――

ヒカゲチョウ

アシブトチズモンアオシャク

クロコノマチョウ

左のヒカゲチョウと右のクロコノマチョウは、日陰を好むチョウの仲間。中央のアシブトチズモンアオシャクはガの仲間です。ガの仲間にも美しい色彩の種類は沢山いますし、チョウでも地味なタイプも結構見受けられます。

秋に向かって季節は進みます

夏の初めのうるさかった**クマゼミ**の鳴き声も、いつの間にか**ツクツクボウシ**の声に置き換わり、夕方になると**コオロギ**や**カネタタキ**が鳴き始めています。カマキリやバッタの幼虫たちも成虫に育ちつつあります。カブトムシは成虫では冬越しは出来ません。

ハラビロカマキリの幼虫

オオカマキリの幼虫

ナガコガネグモ

カマキリ達は最後の脱皮をして、成虫になり、交尾をして、産卵に備えます。クモの仲間も一部を除いて、卵で冬越しをします。成虫は冬を越せません。

カブトムシももうすぐ見られなくなります。夏に良い香りを放っていたクサギの花も実を付ける準備をしています。

歩いていると**コナラの実の付いた小枝**が落ちています。はかまの部分には小さな穴が空いています。**ハイイロチョッキリ**（右上写真）が卵を産んだ痕です。卵を産むと、枝先を切り落としてしまいます。

幼虫（通称：ドングリムシ）は中身を食べて育ち、秋にドングリから出て土に潜り、さなぎになって、冬越しをします。

季節は進みます

毎回、何か新しい発見とハプニングがあります。一緒に歩きませんか？

次回は　9 月 26 日（日）

テーマ：秋の七草探し・秋のトンボ　（の予定になっていますが、**「稲穂〜たわわの稔りの棚田とバッタたち」** がメインになりそうです。トンボはなかなか捕まりにくいし・・・・）

稲穂が風になびく、近辺では見ることができなくなった黄金色の棚田を見に行きましょう。

道中には秋の花々も咲いています。

朝 9:30〜　森の集会所集合です。

<お知らせ>

なごや生きもの一斉調査 2021　テントウムシ編　参加者募集！

募集期間が　9月8日（水）まで延長になりました。

開催日：9月23日（木・祝）～26日（日）

詳しくは、広報なごや　8月号　または　なごや生物多様性保全活動協議会事務局

（TEL 052－700－7792）

まで

こんな活動もあります

８月２２日　環境大学　溜池講座で水質検査をしました。

猪高の森の溜池を学ぶ講座です。今回は、塚ノ杁池をメインとする水質検査をしました。

透明の度合いや酸素がどの程度混ざっているか、汚れ具合はどうか、などを調べました。

後半は溜池巡りで棚田まで行きました。